

木公元 莉己 のライフプラン

将来なにになりたいか？ **生物学者**

その理由：**家の近くの川にいる魚や生き物をとりたいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2019年	9(4年)		授業料 習い事代
2020年	10(5年)	理科の勉強をする。	
2021年	11(6年)		
2022年	12(中1)	中学校入学	
2023年	13(中2)	英語をがんばる	
2024年	14(中3)	高校受験、中学卒業	
2025年	15(高1)	高校入学	入学金
2026年	16(高2)	理科系、英語の勉強	
2027年	17(高3)	をがんばる。英検にチャレンジ	英検代
2028年	18(大1)	大学入学	入学金 授業料 生活費
2029年	19(大2)	地元川について調べる。	
2030年	20(大3)	海外の生物をたくさん見る。	海外旅行費
2031年	21(大4)	大学卒業	
2032年	22才	大学院に入る。	
2033年	23才	留学し号しどく	
2034年	24才	アユのようなく戸川ではたらく。	生活費 活動費
2045年	35才	地元川をアユでいっぱいにする。	

リュウキュウアユを救いたい

龍郷町立戸口小学校四年 松元 莉己

学校のすぐ近くに戸口川があります。最近この川にリュウキュウアユがすんでいることが分かって新聞でも紹介されました。

一年前、学校にリュウキュウアユにくわしい大学の先生がやってきて、オスとメスの見分け方も教えてもらいました。みなさんは、リュウキュウアユという魚を知っていますか。リュウキュウアユの「リュウキュウ」とは、昔の沖縄県および名のことです。リュウキュウに住んでいたアユだから、リュウキュウなのです。けれど、今、沖縄の川には、もうこのリュウキュウアユはいません。森や山がこわされ、川の水がにごってきたりなくなったのが原因だからです。そのリュウキュウアユが遠くはなれたこのあま美大島にひっそりとすみついて生き続けていたのです。わたしは、うれしい気持ちとかなしい気持ちと熱い気持ちで心がいっぱいになりました。

この前、戸口川の近くを歩きました。家があるそばの川は、スーパリーのレジぶくろが捨ててあったり川の底が赤茶色のよくなこけがへばりついていたりして、きたなく見えませんでした。せつかがんばって生き残ったリュウキュウアユなのに、もしかしたら戸口のリュウキュウアユもいなくなってしまうかもしれないと不安になりました。

だから、アユたちが、自由に泳ぎ回れるようなきれいな川をふやしたいと強く思いました。そして、リュウキュウアユが元いた沖縄県にもどることができるようになるための仕事をしたいと考えるようになりました。そのためには、魚のことをもっと知り、川をきれいにする方法やアユたちを元気にする方法を見つける必要があります。また、川を利用している人たちと協力するために話し合う力も必要です。これからは、しよるの設計図をしつかり立てて勉強し、リュウキュウアユを救える人になれるようにがんばりたいです。